

東北縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査

大 池 古 墳 概 報  
大 山 堂 跡

福島県文化財調査報告書第22集の4

昭和45年3月

日 本 道 路 公 団  
福 島 県 教 育 委 員 会

## 序

本県は、原始時代の遺跡はもち論、関東との接点に位置するところから、古代の遺跡が特に多く、われわれの祖先の生活文化を、如実に物語っています。

東北縦貫自動車道の建設が計画されるや、これら文化財の適正保存をはかるべく、昭和41年より分布調査を実施いたしました。これにより、極めて重要なものについては保存をはかり、記録保存すべきものについては更に予備調査を実施して資料を整え、最終的に50余カ所の遺跡を発掘調査することになりました。

本事業は、3年計画のもとに進め、本年度はその初年度にあたり、13の遺跡について8次にわたる発掘調査を実施し、予定通り終了をみてその調査概報を発行するはこびとなりました。もとより概報でありますので、不じゅうぶんなものではありますが、学術資料としてご活用いただければ幸いです。

本調査に際し、ご多忙の中、発掘にあられた調査員各位、郷土の文化財保存の熱意からご援助下さった協力者の方々、並びに調査の運営に、全面のご協力を惜しまなかった市町村教育委員会をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げます。

昭和45年3月

福島県教育委員会教育長

三 本 杉 國 雄

## 目 次

1 予 備 調 査 .....	2
2 地 形 .....	2
3 調 査 経 過 .....	2
4 調 査 結 果 .....	3

## 凡 例

- 1、この発掘調査は、日本道路公団と委託契約を結び県教育委員会が発掘調査を実施したものである。
- 2、概報なので、原則として実測図は付さず、出土品も未整理のものは省略した。
- 3、全体計画終了後、報告書として一括して刊行する予定である。
- 4、執筆は、担当者・調査員・参加者などが分担したものもある。図面・写真も同様である。
- 5、出土品は、県及び関係市町村教育委員会で保管している。
- 6、編集は、事務局職員が担当した。

遺跡名 大池古墳  
大山堂跡  
所在地 岩瀬郡鏡石町鏡田字大池  
岩瀬郡鏡石町鏡田字五斗蒔  
調査期間 昭和44年8月20～26日  
調査者 日本道路公団・福島県教育委員会  
担当者 目黒吉明  
調査員 真室公一（緑が丘高校勤務）  
丹羽 茂（福島大学考古学研究会長）  
越田和夫（同 上）  
柴田俊彰（同 上）

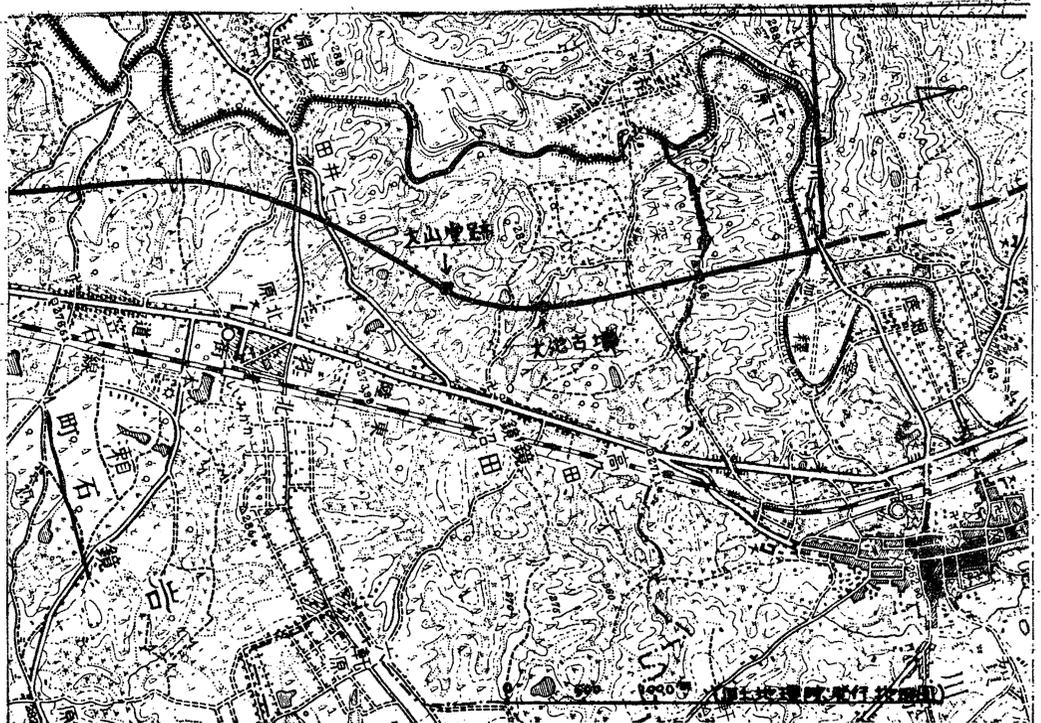
班編成（真室以外は、福島大学考古学研究会員）

- 1 班 真室（班長）、増子、五島、平山、山内
- 2 班 柴田（班長）、一条、石塚、斎藤、茂木
- 3 班 越田（班長）、鳥貫、菅野、川島、渡辺
- 4 班（測量班） 丹羽（班長）、日下部、稲川、佐藤

（なお、2日間木本元治が参加協力した）

協力機関 鏡石町教育委員会

協力者 西光寺 今泉区長・旧地主



## 1 予 備 調 査

大池・大山両地点とも永山倉造氏によって予備調査が行なわれた。大池の遺構は高塚状をなし、いわゆる古墳形態を有することを指摘され、「大池古墳」として報告された。大山地点については、丘陵下の湧水と湧水付近から丘陵の山頂近い当大山地点にかかけて存在する山道、さらに当地点が狭小であるが三方が斜面に囲まれて平坦地であること、以上の3つの状況を加味して、当地区にお堂などの遺構が存在するものと推定し、「大山堂遺跡」として報告されたものである。

## 2 地 形

**大池遺構** 遺構は、東北本線の鏡石駅の北北西、約2kmに位置し、大池の南側の山塊の頂上にある。遺構の西方約1kmには釈迦堂川が北に流れ、その氾濫原は遺構から数百mまで迫っている。付近の地形は標高260~280mほどの丘陵が起伏しており、丘陵上は畑や松林になっており、山間の低地は水田となっている。遺構の存在する山塊は標高271.9m、東南斜面の一部は畑地となっているが、大部分は松林になっている。遺構は山頂にあり、松林の旧地主の話によれば、現在松林になっている遺構の南部も一時畑地として耕作していたとである。

**大山地点** 大池遺構の南方約800mにあり、釈迦堂の氾濫原を西に望む丘陵上に位置している。丘陵の頂上は標高279.3mあるが、当該地点はこの頂上からわずかに下った標高276~272mほどの地点にあり、三方の斜面をなした箕状の地形をなしている。平坦部は20×30ほどの面積があり、丘陵下の湧水付近から当該地点にかけてつづれ折りの山道が続いている。詳細にみるとこの山道は、当該地点を通過し、更に東にのびているようにも観察された。

## 3 調 査 経 過

8月20日 目黒、真室、福大生一同、東北本線7時47分福島発にて調査に向う。鏡石町公民館にて調査打合せを行ない西光寺(宿泊所)に回り調査準備をととのえ大池遺構に向う。西光寺住職読経のうえ10時50分調査を開始する。旧地主の協力を得、遺構および周辺にうっそうと茂る松・雑木・篠・つたの伐・切払いを行なう。2時40分雷雨あり、テントを張って避難。3時30分うっそうと茂った樹木を完全に切り払いを完了、遺構は方墳状の全容を現わした。測量班をのこし、旧地主の案内により全員大山地点に向い、平坦部中央とその他3カ所の切払いを行った。平坦部松林ではあり、雑木・篠の下刈り程度であったが、2地点は雑木林になっており、うるし・篠・つた類が密生し作業は難行した。大山遺構の作業は5時終了、大池遺構の測量班は、6時まで作業を行なった。夕食後1時間第2回目の打ち合せを行なう。

8月21日 午前8時測量班出発、遺構上に丁字トレンチを設定、発掘作業を開始する。遺構上には篠がびっしり根を張り作業は困難であった。また盛土は地堅めを行なったと推定されるように非常に

堅く、移植ベラ・ボーリングは歯が立たない。移植ベラは無理に使用すると2、3度で根本から折れ曲るといった状況であった。頂点下55cmに灰白色粘土帯が、わずかに見られたが、内部構造とは認められなかった。測量班は大山地点の測量を行なう。夕食後ミーティングを行なう。

8月22日 大池遺構の調査を1班が継続し、T字トレンチ以外に第3トレンチを設定する。第2トレンチの東部に木炭の混ったピットが発見されたが、古墳の内部構造とは認められなかった。2、3班は大山地点の調査を行なう。平坦部中央に2×12mのトレンチを設定。夕食後ミーティングを行なう。

8月23日 1班が大池遺構、2、3班は大山地点の調査を継続したが、午前10時30分ごろ台風9号来襲、嵐となる。雨中宿舎（西光寺）に引き揚げる。夕食後、田島町折橋遺跡と只見町唱崎遺跡のスライドを使用学習会を行なう。

8月22日 前日同様、1班が大池遺構、2、3班が大山地点の調査を継続する。大池遺構は、B、Cトレンチを新たに設定、地山まで掘り下げたが内部構造認められず。大山地点では、Aトレンチの東に2×4mのBトレンチを新設、更にAトレンチの北部の丘陵上に1×4mのCトレンチを新設した。いずれも遺構・遺物は認められなかった。夕食後ミーティングを行なう。

8月25日 大池遺構では、D・Eのトレンチを新設、いずれも地山まで掘り下げたが内部構造認められず。大山地点、各トレンチの掘り下げを行なったが、遺構・遺物は発見されなかった。

8月26日 各班とも整理作業にはいり、セクシオン記録、測量、写真撮影を行ない作業を終了し、全員引揚げた。

## 4 調査結果

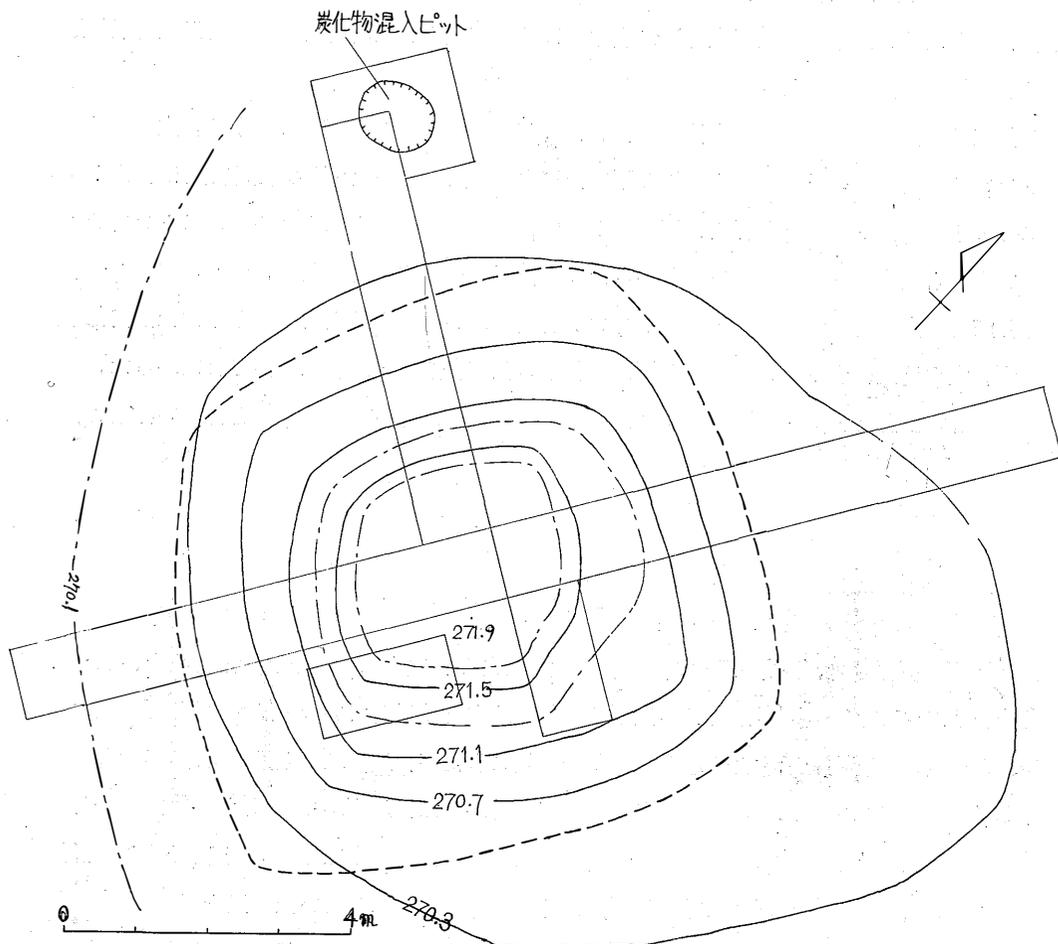
**大池遺構** 直径8m、高さ1.5mの方墳状の遺構であり、盛土は頂点下1mが褐色土、1～1.3mが赤色土、1.3～1.6mが赤褐色土、1.6m以下は赤色の地山と移行していた。遺構の周辺は幅1m、深さ20cmほどの周溝の存在を示すような形態の部分も見られたが、地山は掘り込んでおられず、表土が流出もしくは削られてきたものと推定された。盛土内からは、わずかな木炭が発見されたが、その他遺物や古墳の内部構造と推定されるものは発見されなかった。盛土は非常に堅く、地堅めを行なったと推定され、外形は大きな崩れは見られず、よく整った形態を示していた。以上が調査の概要であるが、総合的に当遺構を検討してみると、1基独立して山頂に存在する小規模な方墳状の形態であること、地堅めが行なわれたと推定されること、外形が整っていること、内部構造が認められなかったことから、考古学上の古墳と推定するには困難なものがあり、むしろ近世ごろにつくられた境壇的な性格のものとするのが妥当と思われる。時期を示す遺物が発見されず断定は困難であり、今後、新例の増加によって改めて検討すべきものと思料する。

**大山地点** 平坦地中央に入れたAトレンチ中央部の地層は、第1層が厚さ22cmの茶褐色土、第2層が厚さ20cmの黒褐色土、第3層が厚さ36cmの赤褐色土、第4層が厚さ40cmの暗褐色土層、第5層が黄褐色の地山と移行している。トレンチ北端では第2層・第4層は欠除し、深さ56cmで第5層の地山に達している。第2層、第4層は、ともに黒色をおびており流水により中央平坦部に堆積したものと思

われる。Bトレンチでも傾斜の高位置には第2層が欠除し、低位置に第2層の黒褐色土が見られた。Cトレンチは丘陵上に設定したトレンチであり、第1層茶褐色土厚さ35cmの下に5~38cm厚さの黄褐色土があり、その下は岩磐となっていた。地層の変化を記したが、文化的な遺構・遺物は一片も発見されなかった。

(執筆者 目黒吉明)

### 鏡石町大池遺構

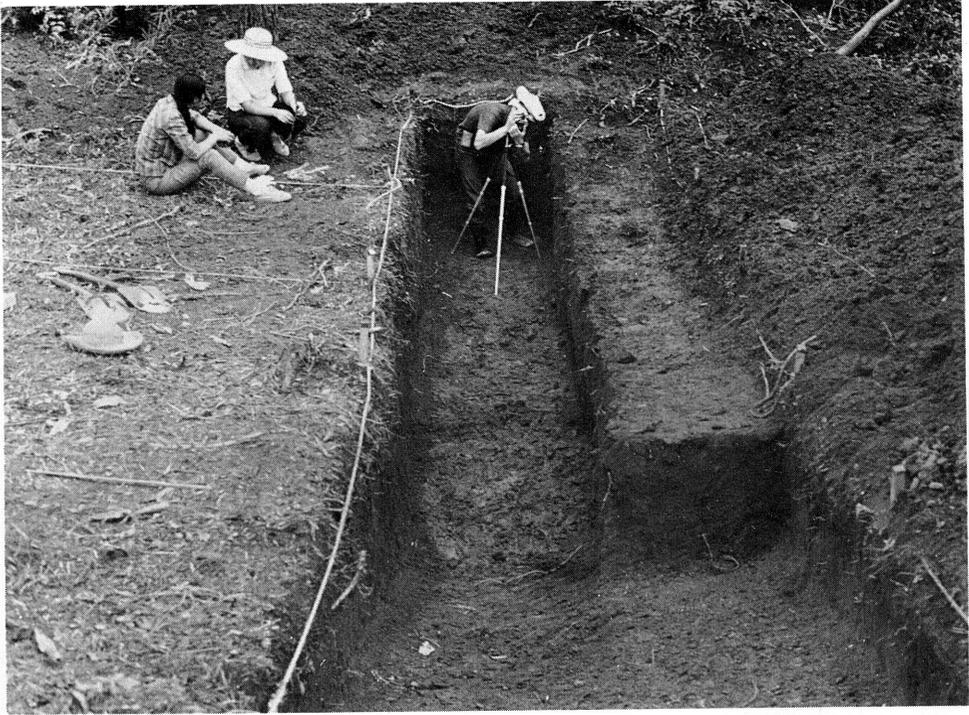




1 大池遺跡 トレンチ西側



2 大池遺跡 トレンチ南側



3 大山遺跡 トレンチ西より



4 大山遺跡 トレンチ東より

昭和45年3月15日印刷

昭和45年3月31日発行

福島県教育庁社会教育課

福島市杉妻町2-16

印刷 小浜印刷株式会社

福島市陣場町9-3